

# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

記入日 2008年1月21日

## 1. 概要

実践団体名	愛知県立日進高等学校	
連絡先	電話番号	0561-73-6221
プランタイトル	防災サバイバル体験で災害に強い人になろう —地域のお年寄りや子ども達の支援をとおして命の大切さを学ぶ—	
目的	災害が発生した際に、率先して支援活動が行える生徒の育成を目的	
プランの概略	学校の体育館で2泊3日の避難所宿泊体験を行う他、地域の児童養護施設や保育園などへ、防災ミュージカルや防災紙芝居の読み聞かせなど地域防災教育を実施する。	
プランの対象	本校生徒、地域住民、地域ボランティア団体、養護施設児童生徒、地域保育園児	
実施日時	① 2007.8.29～30 「避難所宿泊体験」 ② 2007.9.2 「日進市総合防災訓練ボランティア活動員参加」 ③ 2007.8.29、9.25、12.7、12.19、「地域防災教育—防災ミュージカル上演」 ④ 2007.10.6～8 「神戸防災ワークショップ参加」 ⑤ 2007.11.10 「名古屋市港防災センター見学」 ⑥ 2008.1.7 「防災救急法研修会」 ⑦ 2008.1.24 「防災カルタ取り大会」 ⑧ 2008.1.28 「防災家具固定体験」	
実施場所	① 愛知県立日進高等学校 ② 日進市総合運動公園 ③ 愛知県立日進高等学校、中日青葉学園 ④ 神戸学院大学 ⑤ 名古屋市港防災センター ⑥ 愛知県立日進高等学校 ⑦ 日進市立三本木保育園 ⑧ 愛知県立日進高等学校	
連携した団体	連携団体の有無	有

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

連携した団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レスキューストックヤード</li> <li>・日進市三ヶ峯老人会</li> <li>・日進市三ヶ峯町内会</li> <li>・ひだまりの会（介護福祉団体）</li> <li>・中日青葉学園（児童養護施設）</li> <li>・日進市立三本木保育園</li> <li>・日進消防署</li> </ul>
連携したきっかけ・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レスキューストックヤードー活動支援担当</li> <li>・日進市三ヶ峯老人会、日進市三ヶ峯町内会ー地域住民</li> <li>・陽だまりの会（介護福祉団体）ー地域住民が代表を務める会</li> <li>・中日青葉学園（児童養護施設）、日進市立三本木保育園ー近隣施設</li> <li>・日進消防署ー地域消防署</li> </ul>
連携団体へのアプローチ方法	訪問あるいは電話依頼
連携団体との打ち合わせ回数	何れも2回程度
連携団体との役割分担	レスキューストックヤード、尾三消防本部日進消防署以外は、本校生徒が防災教育の提供者で、連携先は防災教育受講者。レスキューストックヤード、尾三消防本部日進消防署は、防災教育の提供者で、本校生徒職員、地域住民が防災教育受講者。

### 2. プランの立案過程

プラン立案メンバーの人数と役割	団体内のスタッフ総人数	職員5名
	外部スタッフの総人数	7名
	主なメンバーの役職・役割	<p>団体内：教頭ー総括、保健主事ー全体企画・立案、図書主任ー読み聞かせ、カルタ企画・立案、教諭ーミュージカルダンス企画・立案、養護教諭ー全体企画・立案</p> <p>外部：会代表ー講師、広報、指導課長ー企画、署員ー企画、園長ー企画</p>

## 2007 年度 防災教育チャレンジプラン 最 終 報 告 書

プラン立案 に要した 日数・時間	立案期間	2007.1.9～5.31
	立案時間	92 時間 (全体企画・立案者の立案期間の勤務日数×1 時間)
	上記のうち 打ち合わせ時間	35.5 時間 (外部団体との打ち合わせ時間 14.5 時間、団体内打ち合わせ一週 1 回 1 時間で 21 時間)
プラン立案 で注意を 払った点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や他の学校行事への影響</li> <li>・事故防止</li> <li>・教員間の連携</li> <li>・保護者への依頼・説明</li> </ul>	
プラン立案 で苦労した点	<p>授業や他の学校行事との調整の段階で、他の教員の協力が得られない、あるいは職員会議で反対意見が出るなど、プランの変更を余儀なくされた点。</p>	

### 3. 実践にあたっての準備

準備に 関わった方と 人数・役割	団体内の スタッフ総人数	職員 46 名
	外部スタッフの 総人数	30 名

## 2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

	<p>主なメンバーの 役職・役割</p>	<p>団体内：教頭—総括、保健主事—全体企画・立案、図書主任—読み聞かせ、カルタ企画・立案、教諭—ミュージカルダンス企画・立案、養護教諭—全体企画・立案 外部：会代表—講師、広報、指導課長—企画、署員—企画、園長—企画</p>
<p>準備に要した 日数・時間</p>	<p>準備期間</p>	<p>① 避難所宿泊体験 7.20～8.28 ② 日進市総合防災訓練ボランティア活動員参加 8.31～9.1 ③ 第2回防災ミュージカル上演 9.3～9.24 ④ 神戸防災ワークショップ参加 9.26～10.5 ⑤ 名古屋市港防災センター見学 10.9～11.9 ⑥ 第3回防災ミュージカル上演 11.12～12.6 ⑦ 第4回防災ミュージカル上演 12.10～12.18 ⑧ 防災救急法研修会 12.19～1.6 ⑨ 防災カルタ取り大会 1.8～1.23 ⑩ 防災家具固定体験 1.24～1.27</p>
	<p>準備総時間</p>	<p>① 24 時間 ② 2 時間 ③ 8 時間 ④ 8 時間 ⑤ 5 時間 ⑥ 8 時間 ⑦ 4 時間 ⑧ 3 時間 ⑨ 12 時間 ⑩ 4 時間（見込み）</p>
	<p>上記の打ち合わせ回数</p>	<p>① 12 回 ② 2 回 ③ 4 回 ④ 3 回 ⑤ 3 回 ⑥ 4 回 ⑦ 2 回 ⑧ 3 回 ⑨ 4 回 ⑩ 2 回（見込み）</p>

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

教育関係への働きかけ	働きかけた教育関係者・機関名	日進市立三本木保育園
	どのように働きかけたか	電話及び訪問依頼
	結果	快諾
地域への働きかけ	働きかけた地域の人・機関名	日進市三ヶ峯老人会、日進市三ヶ峯町内会、ひだまりの会（介護福祉団体）、日進市民、中日青葉学園（児童養護施設）、日進消防署
	どのように働きかけたか	電話及び訪問依頼
	結果	快諾
保護者・PTAへの働きかけ	働きかけた保護者・PTA組織名	ボランティア生徒保護者
	どのように働きかけたか	文書で依頼
	結果	快諾

# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

<p>機材・教材の 準備方法</p>	<p>用意した機材・教材</p>	<p>① 炊き出しー薪、鍋、ブロック、バケツ、料理具材 ミュージカルー大道具、小道具、パワーポイント 防災講話ープロジェクター 課題解決ワークショップー車椅子、文具、アイス 防災10か条ー文具、シート、ボード、B紙 ほのぼの灯りー缶、ティッシュ、アルミホイル 花火ー花火 宿泊ー寝具</p> <p>② 保護者承諾書</p> <p>③ 大道具、小道具、パワーポイント</p> <p>④ 保護者承諾書</p> <p>⑤ 保護者承諾書</p> <p>⑥ 大道具、小道具、パワーポイント、紙芝居</p> <p>⑦ 大道具、小道具、パワーポイント、紙芝居</p> <p>⑧ 三角巾、AEDトレーニングキット</p> <p>⑨ 手作りカルタ</p> <p>⑩ ふんばる君</p>
	<p>入手先・入手方法</p>	<p>① 炊き出しー建築屋、調理室、ホームセンター、スーパー 市防災課 ミュージカルーホームセンター、職員室、保健室 防災講話ー職員室 課題解決ワークショップー市福祉課、スーパー 防災10か条ーホームセンター ほのぼの灯りースーパー 花火ーホームセンター 宿泊ー貸し布団店</p> <p>② 校内印刷</p> <p>③ ホームセンター、職員室、保健室</p> <p>④ 校内印刷</p> <p>⑤ 校内印刷</p> <p>⑥ ホームセンター、職員室、保健室</p> <p>⑦ ホームセンター、職員室、保健室</p> <p>⑧ 学校薬剤師、ファーストエイドプロモーション</p> <p>⑨ 洋裁店ー生徒作成</p> <p>⑩ マックスファクトリー</p>

## 2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

	機材教材の選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 内容、予算にあわせて</li> <li>② 校内の書式を参考に</li> <li>③ 予算にあわせて</li> <li>④ 校内の書式を参考に</li> <li>⑤ 校内の書式を参考に</li> <li>⑥ 内容、予算にあわせて</li> <li>⑦ 内容、予算にあわせて</li> <li>⑧ 内容、予算にあわせて</li> <li>⑨ 内容、予算にあわせて</li> <li>⑩ 内容、予算にあわせて</li> </ul>
参加者の募集	募集方法	全て校内掲示による募集
	募集期間	全て 20 日程度
	参加予想人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 40 人程度</li> <li>② 生徒 6 人、職員 1 人</li> <li>③ 団員 20 人程度、観客 300 人程度</li> <li>④ 生徒 2 人、職員 1 人</li> <li>⑤ 30 人程度</li> <li>⑥ 団員 20 人程度、観客 30 人程度</li> <li>⑦ 団員 20 人程度、観客 40 人程度</li> <li>⑧ 生徒 20 人、職員 30 人程度</li> <li>⑨ 生徒 20 人、園児 50 人（予定）</li> <li>⑩ 生徒 20 人、職員 10 人</li> </ul>
	実際の参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 54 人</li> <li>② 生徒 8 人、職員 1 人</li> <li>③ 団員 20 人、観客 300 人</li> <li>④ 生徒 2 人、職員 1 人</li> <li>⑤ 22 人</li> <li>⑥ 団員 20 人、観客 60 人</li> <li>⑦ 団員 20 人、観客 30 人</li> <li>⑧ 生徒 20 人、職員 32 人</li> <li>⑨ 生徒 20 人、園児 50 人（予定）</li> <li>⑩ 生徒 20 人、職員 10 人（予定）</li> </ul>
	募集方法の成功点	事前に職員（部顧問等）に依頼（いわゆる根回し）

# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

	募集方法の失敗点	町内会などは、町内会の行事とバッティングしないように、早めに依頼する必要がある。
準備で 苦勞した点 工夫した点	授業や他の学校行事に迷惑をかけないように、行事日程や練習時間に苦勞した。 工夫した点としては、実施にあたって、防災教育チャレンジプランに採択されたプランであることを常に強調し、学校教育の一環であることを訴え続けた。 また、予算が限られているため、地域の方々にも物資の提供などご協力いただいた。	



# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

## 4. タイムスケジュール

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2007年 5月	防災ミュージカル「はるかのひまわり」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原作「はるかのひまわり」を読む。</li> <li>・劇団四季のミュージカルCDを聴く。</li> </ul>	ミュージカル脚本を執筆。
2007年 6月	防災ミュージカル「はるかのひまわり」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスDVDを視聴。</li> <li>・体操教諭とダンスのミーティング。</li> </ul>	ミュージカル脚本を執筆。
2007年 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ミュージカル「はるかのひまわり」完成</li> <li>・宿泊体験案作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカル音楽のピアノ歌の練習。</li> <li>・パワーポイント作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ミュージカルの団員を募集し、練習開始。</li> <li>・他の地域の宿泊体験に参加</li> </ul>
2007年 8月	宿泊体験実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炊き出し材料の買出し</li> <li>・布団、車椅子の手配</li> <li>・講師の依頼</li> <li>・地域への参加依頼</li> <li>・ミュージカル練習</li> <li>・日進市総合防災訓練参加者募集</li> <li>・日進市総合防災訓練ボランティア活動員参加生徒の保護者の承諾書を作成</li> </ul>	宿泊体験実施
2007年 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進市総合防災訓練ボランティア参加</li> <li>・防災ミュージカル「はるかのひまわり」文化祭発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進市総合防災訓練ボランティア活動参加生徒の保護者承諾書を受領</li> <li>・ミュージカル練習</li> <li>・神戸防災ワークショップ参加者募集</li> <li>・神戸防災ワークショップ参加生徒の保護者の承諾書を作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進市総合防災訓練にボランティア活動員として参加</li> <li>・文化祭で防災ミュージカル「はるかのひまわり」を発表</li> </ul>

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

2007年 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸防災ワークショップ参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸防災ワークショップ参加生徒保護者の承諾書を受領</li> <li>・名古屋防災センター見学生徒募集</li> <li>・名古屋防災センター見学参加生徒の保護者の承諾書を作成</li> </ul>	神戸防災ワークショップ参加
2007年 11月	名古屋防災センター見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋防災センター見学参加生徒保護者の承諾書を受領</li> <li>・ミュージカル練習</li> </ul>	名古屋防災センター見学
2007年 12月	防災ミュージカル「はるかのひまわり」第3回第4回講演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカル練習</li> <li>・防災救急法研修会参加者募集</li> <li>・三角巾、AEDトレーナー購入</li> <li>・防災カルタ作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ミュージカル「はるかのひまわり」第3回を児童養護施設中日青葉学園で実施</li> <li>・防災ミュージカル「はるかのひまわり」第4回講演を、福祉団体陽だまりの会を招待し、本校体育館で実施</li> </ul>
2008年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災救急法研修会</li> <li>・防災カルタ取り大会</li> <li>・防災家具固定体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災救急法研修会会場準備</li> <li>・ふんばる君設置箇所調査</li> <li>・ふんばる君購入</li> <li>・防災カルタ作成</li> <li>・防災家具固定体験募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災救急法研修会実施</li> <li>・防災カルタ取り大会を三本木保育園で実施</li> <li>・防災家具固定体験で家具転倒防止板ふんばる君を設置</li> </ul>

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【A. 素材】 (メインとなる活動を45分1コマとして記入してください)

タイトル	防災ミュージカルの作成	日進高校防災カルタ		
実施日	5/7～7/19	12/25～1/17		
所要時間	54時間	17時間		
達成目標	震災の悲惨さと、長く続く被災者の苦しみ、それを乗り越えるための支援の必要性等を伝える	防災カルタで、防災について自然に学ぶ		
生成物	・創作防災ミュージカル「はるかのひまわり」	・日進高校防災カルタ		
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原作「はるかのひまわり」物語等を読む</li> <li>・名作ミュージカルを視聴する</li> <li>・「はるかのひまわり」の脚本を書く</li> <li>・ミュージカルに使用する歌を作詞</li> <li>・劇中のダンスを体操教諭と作成</li> <li>・劇中に使用する音楽の選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科教諭と防災担当教諭で、授業の進め方を検討</li> <li>・防災カルタをフェルトで概ね教諭で準備</li> <li>・生徒が授業で標語を考案</li> <li>・標語を作成した生徒が、自分のカルタのカードを作成（一人3枚程度）</li> <li>・最後の授業で保育園を訪問し、カルタ取り大会を</li> </ul>		

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲</li> <li>・パワーポイント作成</li> <li>・大道具・小道具の作成</li> <li>・衣装</li> </ul>	実施		
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原作本</li> <li>・ミュージカルCD、DVD</li> <li>・楽譜</li> <li>・大道具・小道具・衣装</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・パソコン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェルト、はさみ</li> <li>・パソコン</li> <li>・写真用光沢用紙</li> </ul>		
場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室</li> <li>・音楽室</li> <li>・日進高校体育館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室</li> <li>・被服準備室</li> <li>・家庭科室</li> </ul>		

### 5. 実践の詳細【B. イベント】 (メインとなる活動を45分1コマとして記入してください)

タイトル	日進高校避難所宿泊体験	防災ミュージカル公演	日進市総合防災訓練参加	神戸防災ワークショップ参加	防災カルタ取り大会
実施日	8/29～30	8/29、9/25、12/7、12/19	9/2	10/6～8	1/24
所要時間	20時間	2時間	8時間	44時間	2時間

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

達成目標	災害が発生した際に、率先して支援活動が行える生徒の育成	震災の悲惨さと、長く続く被災者の苦しみ、それを乗り越えるための支援の必要性等を学ぶ	災害が発生した際に、率先して支援活動が行える生徒の育成	全国から集まった防災関係のグループ（小・中・高・大学・一般・NPO）との交流を図り、情報交換をする	防災カルタで防災教育
生成物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進高校防災10カ条</li> <li>・地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作防災ミュージカル「はるかのひまわり」</li> <li>・地域の施設との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ボランティアグループとの連携及び情報</li> </ul>	日進高校防災カルタ
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ分け</li> <li>・避難所リスト作成</li> <li>・地域のお年寄りによる災害体験語り部講話</li> <li>・防災ミュージカル公演</li> <li>・炊き出し</li> <li>・防災講話</li> <li>・課題解決ワークショップ</li> <li>・防災グループワーク</li> <li>・ほのぼの灯り作成</li> <li>・お楽しみ企画「花火」</li> <li>・ラジオ体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進高校避難所宿泊体験の際に、本校生徒や地域の人々対象に公演</li> <li>・校内の文化祭で本校の生徒や保護者対象に公演</li> <li>・児童養護施設で出張公演</li> <li>・地域の福祉団体及び本校保護者対象に公演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進市総合防災訓練受付ボランティア</li> <li>・ビル火災消火訓練</li> <li>・土砂災害救助訓練</li> <li>・ヘリ救助訓練</li> <li>・徒歩帰宅訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10/6 人と防災未来センター見学</li> <li>10/7 ・研究発表</li> <li>・各グループのパネル発表及びフリートーク</li> <li>・クロスワード「事例研究」</li> <li>・避難所体験</li> <li>10/8 ・避難所体験のグル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科保育の授業6時間を利用し、生徒が日進高校防災カルタをフェルト素材で作成</li> <li>・三本木保育園で防災カルタ取り大会を実施</li> </ul>

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食</li> <li>・清掃</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ープ発表</li> <li>・感想のシェア</li> </ul>	
<p>ツール (特別に用意したもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター</li> <li>・パソコン</li> <li>・ブルーシート</li> <li>・文具</li> <li>・水</li> <li>・炊き出し用機材</li> <li>・炊き出し用食材</li> <li>・バケツ</li> <li>・ミュージカル大道具・小道具、衣装</li> <li>・車椅子</li> <li>・空き缶</li> <li>・花火</li> <li>・寝具</li> <li>・香取線香</li> <li>・朝食材料</li> <li>・扇風機</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター</li> <li>・パソコン</li> <li>・大道具・小道具</li> <li>・衣装</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常持ち出し袋</li> <li>・筆記用具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替え</li> <li>・筆記用具</li> <li>・研究発表用パネル</li> <li>・活動紹介のポスター、チラシ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェルト、ミシン、糸、針、はさみ</li> <li>・パソコン</li> <li>・光沢写真用紙</li> </ul>

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

場所	日進高校体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日進高校体育館</li> <li>・児童福祉施設中日青葉学園</li> </ul>	日進市総合運動公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と防災未来センター</li> <li>・神戸学院大学</li> </ul>	日進市三本木保育園
----	---------	---	-----------	--	-----------

## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【C. 総合的な学習時間】（メインとなる活動を45分1コマとして記入してください）

タイトル	名古屋市防災センター見学	防災救急法研修会	防災家具固定体験	
実施日	11/10	1/7	1/28	
所要時間	5時間	1時間	2時間	
達成目標	災害をバーチャル体験し、災害発生時における行動力を身につけよう	東海・東南海地震を想定した救急法及び心肺蘇生法・AEDの実技講習に参加していざという時に備えよう	防災家具を固定することによって、地震の際の被害軽減を目指す	
生成物	・防災知識・行動力	・救急法及び心肺蘇生法・AEDのスキル	・家具固定	
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講話</li> <li>・地震体験</li> <li>・煙避難体験</li> <li>・伊勢湾台風を知る</li> <li>・消防ヘリ試乗体験</li> <li>・消火体験</li> <li>・通報体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に多いけがの三角巾を使った救急法</li> <li>・担架のない時の運搬法</li> <li>・心肺蘇生法</li> <li>・AED</li> <li>・トリアージについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の転倒が予想される家具の調査</li> <li>・生徒が家具転倒防止板ふんばる君を設置</li> </ul>	



## 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

ツール (特別に用意したもの)	・筆記用具	・三角巾 ・毛布 ・AEDトレーニングキット	・家具転倒防止板ふんばる君	
場所	名古屋市港防災センター	日進高校体育館	日進高校管理棟及び生徒棟	

**2007年度防災教育チャレンジプラン  
最終報告書**

# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

## 6. 実施後

参加者への アンケート結果	<p>避難所宿泊体験参加者アンケート結果</p> <p>「生徒アンケート（実施者数 24、有効回答数 22 ; 91.7%）」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 性別 男子 36.4%、女子 63.6%</li> <li>2 学年 1年 50.0%、2年 40.9%、3年 9.1%</li> <li>3 防災意識の変化 防災意識が高まった 90.9%、変化なし 9.1%</li> <li>4 災害時ボランティア活動に参加しますか ぜひ参加 18.2%、参加しても良い 77.3%、不参加 4.5%</li> <li>5 避難所宿泊体験の内容を家で話すか 話す 63.6%、話さない 36.4%</li> <li>6 地震の準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅の耐震補強を考えているが実行していない 22.7%</li> <li>・ 家具の固定を考えているが実行していない 36.4%</li> <li>・ 耐震補強を行った 4.5%</li> <li>・ 家具固定を行った 18.2%</li> <li>・ 非常食を準備 27.3%</li> <li>・ 非常持ち出し袋を準備 18.2%</li> <li>・ 家族で地震について会話 31.8%</li> <li>・ 何もしていない 36.4%</li> <li>・ その他 13.6%</li> </ul> </li> <li>7 今後防災プログラムに参加したいか ぜひ参加したい 4.5%、参加しても良い 81.8%、参加したくない 13.6%</li> <li>8 避難所宿泊体験の感想 大変良かった 13.6%、良かった 86.4%、あまり良くなかった 0%、良くなかった 0%</li> </ol> <p>「地域住民・職員アンケート（実施者数 30、有効回答数 15 ; 50.0%）」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 避難時に地域の支援が必要か 必要 86.7%、不要 13.3%</li> <li>2 地震の準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅の耐震補強を考えているが実行していない 20.0%</li> <li>・ 家具の固定を考えているが実行していない 33.3%</li> <li>・ 耐震補強を行った 0.0%</li> <li>・ 家具固定を行った 46.7%</li> </ul> </li> </ol>
------------------	--

# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常食を準備 53.3%</li> <li>・ 非常持ち出し袋を準備 46.7%</li> <li>・ 家族で地震について会話 40.0%</li> <li>・ 何もしていない 20.0%</li> <li>・ その他 0.0%</li> </ul> <p>3 避難所生活で心配なこと トイレ 86.7%、飲料水 73.3%、要介護者対策 0.0%、情報 66.7%</p> <p>4 避難所宿泊体験の感想 大変良かった 86.7%、良かった 13.3%、あまり良くなかった 0%、良くなかった 0%</p>
<p>成果として 得たこと</p>	<p>生徒アンケート結果3より、参加者の約90%が参加後、防災意識が高まったと回答している。また、生徒アンケート結果4より、災害時にボランティア活動に参加したいと回答した者が約96%いた。このことは、今回の宿泊体験に参加した結果、防災意識が高まり、実際の災害でも進んで活躍したいという意欲を引き出したと考えられる。これは、本プログラムの目的である、「災害が発生した際に、率先して支援活動が行える生徒の育成」を概ね達成したと思われる。さらに、生徒アンケート結果5より、約65%の者が、自宅で避難所宿泊体験の話をするると回答していることから、直接参加していない、家族への啓蒙にも発展すると考えられる。生徒アンケート結果7では、約86%の生徒が今後も防災プログラムに参加したいと回答していることから、今回の宿泊体験をきっかけに、今後も防災知識やスキルが増加すると考えられる。</p> <p>一方、地域住民・職員アンケート1の結果から、約87%が避難時に地域支援の必要性を感じていることから、公教育である本高等学校も、災害の地域支援のノウハウを持つ必然性が明らかになった。地域住民・職員アンケート3の結果から、避難所生活で心配なこととして、トイレ、飲料水、情報などが何れも高い数値を示した。そのため、災害発生事前に、これらの対策を十分に行っておく必要があると考えられる。そして、地域住民に対し、これらの対策を事前に示しておくことで、不安を和らげ、信頼感を高めることに繋がると思われる。</p> <p>全体の避難所宿泊体験の感想として、参加者のほぼ100%が参加して良かったと感じており、今回のプログラム内容の適切さをあらわしていると思われる。</p>

# 2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

成果物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災ミュージカル「はるかのひまわり」</li> <li>・ 日進高校防災 10 か条</li> <li>・ 日進高校防災ニュース</li> <li>・ 防災カルタ</li> <li>・ 地域住民との連携</li> <li>・ 児童養護施設中日青葉学園、三本木保育園との連携</li> </ul>	
広報方法	広報した先	日進高校、地域の町内会、地域の老人会、福祉団体陽だまりの会、児童養護施設中日青葉学園、三本木保育園
	広報の方法	ポスター、実施要項の配布、訪問依頼、電話
	取材に来たマスコミ	毎日新聞、中日新聞、読売新聞、中日ホームニュース、日進市広報
	広報された内容	防災ミュージカル「はるかのひまわり」で防災教育
	成功点	防災に関心あまり高くない人々も、炊き出しやぜんざいなどをプログラムに入れることで、参加を多少なりとも増やすことができた。
	失敗点	地域の行事と学校行事との日程のバッティング
全体の感想と反省・課題	<p>防災知識だけでなく、実際に災害が発生した際に、高校生としてどのように活動できるかを実践できた。特に、地域の方々との交流を増やしたことにより、地域間交流が深まり、地域のために貢献しようという志をもった生徒の育成に繋がった。3年間継続してきた防災教育の取り組みを、4年目にどのように繋げていくかが今後の課題といえる。</p>	
今後の予定	来年度以降の取り組み方	<p>地域密着型防災教育を展開することにより、災害時に重要な地域での助け合いの心及び実践力を浸透させたい。</p>

## 2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

	<p>ぜひ実施してみたい取り組み</p>	<p>防災（サイエンス）カフェで地域住民と気軽に防災を語り合うと共に、防災スーパーオペラ「The fire of Inamura」で感動の防災教育を実践してみたい。</p>
<p>自由記述</p>	<p>本校防災教育は、ボランティア生徒約 30 名が中心となり、2005 年度から、3 年間継続実施している。</p> <p>本校防災教育の特徴は、ボランティア生徒が中心となり、ミュージカルやダンス、紙芝居や絵本などで地域の小学校、保育園、養護施設、児童館、老人会などに対し、防災を啓蒙する点である。</p> <p>2007 年度の主な取り組みは、地域を巻き込んだ体育館での「避難所宿泊体験」や、防災創作ミュージカルを地域に向けて 4 回上演したことである。特に防災ミュージカルは、読売、朝日、毎日、中日の 4 新聞に取り上げられ、「観客に感動を与えた」と話題を呼んだ。他には、月 1 度の「防災ニュース」の発行や、総合防災訓練へのボランティア活動員としての参加、防災センターの見学、地震を想定した防災救急法、生徒自作の「防災かカルタ」を利用した地域の保育園での「防災かるた取り大会」などを実践した。3 年間継続してきたが、何事も予算がなければできないことであり、その点では、チャレンジ防災の予算 30 万円があったことで、今年が 3 年間で最も充実した防災教育ができたといえる。3 年間継続できたことなので、4 年目も継続実施できるはずであると考えがちであるが、取り組むべき課題の多い高等学校においては、いろいろな面で困難を伴うところである。その中でも、なんとか防災の灯りを消すことなく、点し続けていければと考える。</p>	